



全戸配布した蒲郡市ハザードマップ

**土砂災害についての
周知、情報発信を**

問 土砂災害警戒区域及びその影響がある範囲の方への周知をしているか。

答 全戸配布したハザードマップに土石流危険箇所を明記しているが、具体的な周知等を行っておらず、

今後は警戒区域及びその周辺の方があらかじめ認識できる仕組みを研究していく。
問 豪雨時は防災行政無線が聞き取りづらく、防災行政ラジオも全戸に普及していない現況で、即効性

実効性のある避難呼び掛け方法を検討しているか。

答 愛知県の土砂災害情報料配信を広く周知するとともに、今般広島市で発生した災害を教訓として、市独自の時間雨量・積算雨量などについての情報発信の実施に向けて検討していく。

喚田孝博（自由クラブ）

**歯と口の健康づくり
について**

問 虫歯予防として学童期におけるフッ化物洗口の

実施状況と未実施校への拡大についてはどのようなか。

答 平成16年度に三谷東小学校から導入し、現在

実施校は6校。フッ化物洗口の評価は、豊川保健所による精度管理を受けており、効果も示されているので、今後は保護者や関係者に伝え理解を求めていく。
問 歯周病検診の受診率向上策と対象年齢の拡充について伺う。

答 各検診の受診票を全てブック形式にまとめ受



歯の健診

診者に分りやすくしていく。検診対象年齢もまずは30歳を対象に加え、段階的に拡充するよう進めていきたい。

**障がい者の就労支援
について**

問 市としての障がい者雇用と障害者優先調達制度の実施状況は。

答 法定雇用率の2・3%を上回る21人の雇用をしている。蒲郡市障害者優先調達推進方針を6月に策定し現在取り組んでいる。

問 市内には無かった就労移行支援事業所が2カ所でき、障がい者就労に弾

みがつくと期待している。事業所との連携はどうか。

答 蒲郡市障害者自立支援協議会の就労ワーキンググループとの連携をしていく。

牧野泰広（自由クラブ）

中学生を対象にしたピロリ菌検査の実施について

問 胃がんの予防のため、中学生を対象にピロリ菌検査を実施した場合の概算費用について伺う。

答 中学生のうち1学年を対象に検査を実施した場合、検査費用として一人当たり3千円、1学年の生徒数を750人とすると、費用は225万円と試算される。

問 検査の導入に当たり考えられる課題は。

答 保護者が医療機関に子供を連れて行って受診させる場合は保護者の理解と受診のための時間の確保が問題となり、学校検診の中にいった場合は全員が受診できるが、結果をどのように説明するか個人情報保護の問題を含めた検討が必要である。また、検査結果が陽性の場合にはピロリ菌の除菌が必要だが、アレルギー反応等の副作用もあるとのことなので、安全に除菌できる体制づくり、保護者の理解、副作用が発症した場合の対応が課題となる。

問 実施に対する市の考えは。

答 ピロリ菌検査は胃がんの早期発見、早期治療に効果があると考えているが、先に挙げたとおり課題もあり、慎重かつ十分な研

